

令和4年度第2回行財政改革推進本部提案 審議・報告・その他

提出日：令和4年8月2日

担当部・課：総務部行政経営課〔内線4173〕

① 件名	公共施設における電力調達に係る入札の執行状況について
② 施策等を必要とする背景及び目的（理由）	<p>【背景】</p> <p>平成28年4月の電力小売の自由化に伴い、新電力の競争入札による導入が可能となった。本市においては、令和元年8月に「公共施設における新電力の導入方針」を策定し、入札による電力調達を積極的に進めることで、施設維持管理経費の削減に取り組んでいる。</p> <p>【目的】</p> <p>公共施設における電力調達に係る入札の執行状況等を把握することで、入札による新電力の導入を促進し、更なる行政コストの削減を図る。</p>
③ 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性	<p>【根拠法令】</p> <p>なし</p> <p>【〔総合計画との整合性 総合計画の位置付け：有・無〕又は〔個別計画との整合性〕】</p> <p>第6章 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち</p> <p>第2節 持続可能な行政運営の推進</p> <p>3 公共施設の維持管理経費を節減する</p>
④ 提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）	<p>平成28年4月 電力小売全面自由化</p> <p>令和 元年8月 公共施設における新電力の導入方針を策定</p>
⑤ 主な内容	<p>本市の公共施設のうち、概ね、契約電力が高圧「50KW以上」の施設、又は電気料金の年間支払額が100万円以上の施設について、電力調達の入札実施状況等の調査を行った。</p> <p>調査対象とした144の公共施設の入札状況については、全体の77%に当たる111施設が令和4年5月末時点で入札を執行していた。また、未執行の施設33施設のうち、今年度中に入札を予定している施設は14施設となっており、これを合わせると全体の87%が入札執行となる。</p> <p>電気料金の削減状況については、既に入札を実施した111施設の削減額（令和2年度電気料金との比較減少額）の合計は、約6,300万円となっており、約13%の削減効果が生まれている。</p> <p>※入札執行済施設</p> <p>庁舎（本庁舎、総合支所、支所、公民館）、教育施設、福祉施設、病院、排水ポンプ場 等</p>
⑥ 実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）	<p>令和4年度中に入札予定の施設は、庁舎や体育施設、産業施設など14施設あり、これまでの実績値に基づき電力料金を試算すると、合計約7,000万円が削減できると見込まれる。</p>
⑦ 他の自治体の政策との比較検討	<p>県内の各自治体においては、入札による新電力の導入は進められているものの、それぞれの状況については不明。なお、気仙沼市、東松島市、加美町では、第三セクターにより設立した地域新電力会社から電力の供給を受けている。</p>
⑧ 今後の予定及び施行予定年月日	
⑨ その他	